



防災エキスパート(平常時レポーター)活動報告書

所 属 地 区	遠賀川支部	氏 名	下 田 孝 徳
活 動 地 区	総合水防演習 ①水防工法指導 ②リハーサル ③演習(本番)		
活動年月日	①令和5年4月16日 ②5月13日 ③5月14日		
活 動 内 容	<p>令和5年度 遠賀川総合水防演習 場所 遠賀川右岸 飯塚大橋上流高水敷</p> <p>① 水防工法指導 ・ 出席者 : 遠賀川(事)関係者、直方市消防団 他 14消防団 ・ 防災エキスパート会 : 荒巻、池浦、諫山、城戸、木下、栗野、篠崎、下田、矢野、山口</p> <p>② リハーサル ・ 出席者 : 演習参加団体 ・ 防災エキスパート会 : 井手、木下、栗野、篠崎、下田、矢野、山口</p> <p>③ 総合水防演習(本番)・ 演習参加団体 = 主催:国交省、福岡県、飯塚市 自治体7市13町1村、消防団 15 消防団、陸自、気象台、県警、飯塚消防本部 日本赤十字、災害協定2会社、国土地理院 ・ 防災エキスパート会 = 上記7名+諫山、足立(副会長) 計=9名</p> <p>☆ 活動概要 ・ 各消防団の水防工法の現地演習位置作業の確認。 ・ 水防工法の資材確認、水防工法準備、作業位置の確認。(積み土のう、改良積み土のう、ラバーマット工、シート張り工、木流し工、月の輪工、釜段工) ・ 排水ポンプ車の作業確認</p>		
活動写真等	<div> <div>①水防工法指導</div>    </div> <div> <div>③総合水防演習(本番)</div>    </div>		

防災エキスパート(平常時レポーター)活動報告書

所 属 地 区	八代支部	氏 名	寺 下 進 一
活 動 地 区	球磨川河川緑地(八代市渡町・萩原橋上流競技広場)		
活動年月日	令和 5 年 10 月 1 日		
活 動 内 容	<p>八代市総合防災訓練において水防活動訓練(土のうを用いた月の輪工法)に参加 参加者 : 遠山玄郎 ・ 田中秀之進 ・ 田上勝敏 ・ 寺下進一の4名</p> <p>八代市総合防災訓練は、第一部が水害対処訓練が行われ、その後に第二部として地震災害対処訓練が行われました。エキスパート会は、水害対処訓練の中の水防活動訓練に参加し、水防工法の指導を行いました。</p> <p>○実施訓練の前に八代出張所長より、河川水位の名称、水防工法の種類と目的などについて説明の後に実施訓練を行いました。</p> <p>○実施訓練は、土のうの作成と月の輪工の築造を行いました、参加者は八代市消防団と陸上自衛隊の約30名程度の方々とともに実施しました。</p> <p>○消防団や自衛隊の方に土のう作成時の注意点や月の輪工築造時の注意点を指導するとともに実際の水防活動時の安全確保等について説明を行いながら実施訓練を行いました。</p>		
活動写真等	   		

防災エキスパート(平常時レポーター)活動報告書





所属支部	本 部	氏 名	光武 孝弘
活動地区	九州地方整備局と九州防災エキスパート会との意見交換会(後期)		
活動年月日	令和5年11月6日(月) 15:30～17:30		
活動内容	<p>場 所：九州地方整備局8階 防災対策室</p> <p>出席者： <九州地方整備局> 今田統括防災官、亀園総括防災調整官、角防災管理官、栞原防災情報調整官、川端防災室長、吉田補佐、廣渡建設専門官、田中係長、加藤技官</p> <p><九州防災エキスパート会> 足立会長、黒岩代行、島本代行、久留事務局長、秀徳代行、片山事務局員、川野本部総括支援班長、柳田広域支援担当、大野河川支援班長、光武副班長、後藤災害復旧専門</p> <p>活動内容 ①今年度の防災対応について(整備局から報告) ②意見交換</p> <p>●TEC-FORCE活動への支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年7月豪雨災害では久留米市・東峰村にTEC隊が出動した。 ・エキスパート会は、年度初めに取りまとめた「【九州防災エキスパート会としての支援の在り方(方向性)】(案)」により、現地と本部とのWeb会議に参画し助言等行った。 ・今後、内容の検証など行う必要があると考える。なお、現場への帯同(1週間)は会社との関係やケガした場合などの対応など厳しい現状があると考え。 <p>●整備局の広報活動について</p> <p>①災害対応時の整備局の対応状況が分かりにくい。エキスパート会への情報提供のあり方。②エキスパート会自体の広報の在り方。に関して意見交換した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エキスパート会の活動を広報することは良いこと。あくまでも支援ボランティアであり自らが行うことは好ましくないと考える。整備局の方で積極的に行っていただきたい。 <p>また、整備局のHPなどで紹介されたほうが会社への報告にも利用しやすい。体制など整備局としての対応状況や通れる道をリアルタイムで公表するなど多くの方が見に来るようになればよい。</p> <p>●出張所(河川)との連携項目(案)について ※出監連検討課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災時の体制強化や制度設計など検討されているが、ボランティア活動であるエキスパート会には厳しい提案もある。事務局(整備局)の方で調整し対応をまとめたい。 <p>また出監連からの提案であり、しっかり検討し回答したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携項目には、すでに実施している支部もある。対応している事務所・出張所を参考に対応などを整理する必要があると思われる。 <p>●エキスパート会の支援活動について(過去に発出された本省からの文書「災害対応に係る支援制度の充実について」や防災業務計画書の記載について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年5月1日防災課長通達で災害復旧技術専門家制度の充実が図られ、過去(平成18年)の支援制度に関する発出文書は廃止されている。防災業務計画書に記載のある自治体支援や人材育成などについて、引き続き事務局(整備局)で調整していく。 <p>●「災害復旧技術専門家派遣制度について(情報提供)</p> <p>全国で402名が登録。九州管内は、国交省14名、県65名(課長級以上の者)が登録されている。</p>		
意見 交換会 状況	 		

防災エキスパート(平常時レポーター)活動報告書

<新ロゴマーク採用作品の作成者への感謝状贈呈式の実施>

所 属 支 部	九州防災エキスパート会本部	氏 名	川野 晃
活 動 地 区	福岡市南区塩原(九州大学大学院芸術工学部キャンパス内)		
活動年月日	令和 5 年 8 月 8 日		
活 動 内 容	<p>◆新ロゴマーク公募の採用作品の作成者に対して、会長より感謝状、作品採用通知、副賞等の贈呈並びに意見交換を行った。 <背景等> 筑後川河川事務所と九州大学芸術工学部の協力を得て、学部生から6点の応募を頂き、本部・支部等の推薦により本作品を選定した。</p> <p>◆参加者(受賞者): 河内 月夜(こうち つきよ)様^{※1} 曾我部春香芸術工学研究院准教授立会 エキスパート会: 足立会長、大塚(前)会長、随行者(川野) 計3名 筑後川河川事務所; 松永事業対策官</p> <p>◆採用作品紹介</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>【作品の説明】 中心にある緑の大きい形は九州を表しており、ピンクの丸は県、青の丸は整備局、緑の丸は九州防災エキスパート会を意味しています。全体としてみたときには、九州を黄色の円で囲むことで、県・整備局・九州防災エキスパート会が協力して九州を守っているように見える表現をしています。<以下略> ※使用マニュアル2023.7より引用</p> </div> </div> <p>※1: 九州大学大学院芸術工学府 人間生活デザインコース在籍</p>		
活動写真等	<p>感謝状贈呈式の様子(令和5年8月8日)</p> <div style="display: grid; grid-template-columns: 1fr 1fr; gap: 10px;">     </div> <p>〔場所: 九州大学大学院芸術工学研究院・曾我部准教授室〕</p>		

防災エキスパート(平常時レポーター)活動報告書

所 属 地 区	長崎支部	氏 名	南部 祥隆
活 動 地 区	長崎河川国道事務所管内(道路防災現地診断)		
活動年月日	令和 6年1 月 17 日(水)		
活 動 内 容	<p>長崎河川国道事務所における防災ドクターとの合同現地診断</p> <p>1. 日 時 : 令和 6年1 月 17 日(水)</p> <p>2. 場 所 : 長崎河川国道事務所管内防災箇所(4か所)</p> <p>3. 概 要 : ①現地診断による「要対策」、「カルテ対応」などランクの確認。 ②落石状況などによる今後の対応方針。 ③今後の傾斜センサー、ワイヤセンサーと取り扱いについて。 ④防災カルテ対象外で、組立歩道の劣化、基礎部石積み等を確認。 など、変状状況から評価の妥当性や対策工、点検サイクルの見直しの必要性などを現地にて診断した。</p> <p>4. 参加者 防災ドクター:九州大学・三谷教授、長崎大学・蔣教授、杉本准教授 統括保全対策官、道路管理二課長、各出張所長他 (10名) 点検コンサルタント(5名) 防災エキスパート会長崎支部(2名 南部 楠本) 計 20名参加</p> <p>5. その他 防災ドクターから調査方法追加など細かな指示がなされた。 新規採用職員3名が参加し、防災技術を学んだ。</p>		
活動写真等	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>点検箇所の説明</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>法面点検状況</p>  </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>法面点検状況</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> </div>		